

## 小学校三年

## チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第三学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、話すこと・聞くことにチャレンジしましょう。今から一回だけ、音声による問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

たかしさんたちの学級では、朝の読書の時間に、「おすすめの本」という題で、一人ずつ話をしていきます。今日は、たかしさんの番です。あなたも、たかしさんの学級の一人になったつもりで、話を聞きましょう。

ゆみこ 今日、たかしさんの番です。では、たかしさん、お願いします。

たかし はい。ぼくは、「エルマーのぼうけん」という本をおすすめします。

このお話は、動物島<sup>じま</sup>でひどい目にあわされているりゅうの話を、年とったねこから聞いたエルマーという男の子が、あぶない目にあいながらも、ちえを使つてのりこえて、ぶじにりゅうをすくい出すというお話です。

ぼくが一番おもしろかった場面は、エルマーが、ワニのいる川を向こう岸までわたった場面です。十七ひきのはらぺこのワニたちが、しっぽにぼうつきキャンディーをつけてもらいたくて、川を横切つてずらりと一列にならんだら、ちようどいいぐあいに、十七ひき目のしっぽが、川の向こう岸までとどいたのです。エルマーは、ワニのしっぽにキャンディーをむすびつけながらワニのせ中をわたり、向こう岸まで行きました。ぼくは、エルマーは頭がいいなあと思いました。

本を読みながら、ぼくは、エルマーといっしょに動物島<sup>じま</sup>をぼうけんしている気がして、わくわくしてきました。みなさんも、きっとわくわくすると思います。ぜひ読んでください。

これで、終わります。

ゆみこ たかしさん、ありがとうございました。たかしさんの話を聞いて、わたしも「エルマーのぼうけん」を、読みたいくなりました。

放送はこれで終わりです。

それでは、問題用紙を開いて始めてください。